



## 都市整備

### 福祉車両の乗降場所に配慮を



伊川 京子 議員

花まつりの期間、大村公園での福祉車両の乗降場所は指定されており、昨年からは第3駐車場の1カ所となった。仮設の多目的トイレが設置されるなど利便性は図られているが、公園に入るには道路を渡る必要があり、負担に感じている利用者もいる。公園に直接入ることができる場所をもう1カ所増やすことはできないか。

**答**

大村公園における福祉車両の乗降場所については、利用者の安全確保、渋滞緩和も踏まえ、来年度に新たに設置する方向で検討したい。



## 都市整備

### 新大村駅周辺の整備計画の進捗状況



岩永 慎太郎 議員

大村市の整備計画は順調に進んでいるが、民間企業の募集状況はどうなっているのか。これまでの説明では、開発は民間にゆだねるとしているが、好条件を備えた貴重な市の財産であるため、市民の要望を聞きながら、開発を検討してはどうか。

**答**

民間活力の導入に向けたアンケート調査については、約4,300社に送付し、回答率は約10%、そのうち何らかの関心を示した業者は65社であった。また、新駅周辺の開発においては、「大村市新幹線新大村駅（仮称）周辺地域まちづくり計画」策定に当たり、市民や有識者による検討委員会からいただいた意見と照らし合わせながら進めることを基本とし、最善の形で民間活力を生かしたい。



## 都市整備

### 「産直かやぜ」から鬼橋への新規道路整備を



田中 秀和 議員

県においては、国道444号の坂口地域の改修工事が順調に進まずに苦勞されており、懸案の産直前の交差点の混雑や危険性も解決できない状況である。この際、以前計画されていた富の原坂口線に準じた新規道路を計画すべきである。国道444号のルート変更が実現すれば、国や県の予算による整備も可能となるのではないか。

**答**

新幹線新大村駅（仮称）周辺地域まちづくり計画において、新産業等活性化検討ゾーンに位置付けられる同地域の道路整備を国道444号として整備するという案もあるが、市が答えることはできない。この地域の道路整備については、国道444号や都市計画道路も含め、中長期的な将来計画の検討の中で、今後、国や県と連携して取り組みたい。



## 都市整備

### 新幹線新駅周辺に市民会館建設を



田中 秀和 議員

フリーゲージトレインの開発の遅れにより、武雄温泉駅でのリレー方式の長期化が懸念される。民間活力導入による新駅周辺開発が予定されているが、リレー方式では魅力に欠ける。このため、民間への売却面積を減らし、市民会館を建設してはどうか。新駅前のホールは魅力的だと考える。

**答**

新幹線新駅前への市民会館の建設については、民間活力を生かすという新駅周辺のまちづくりを根本的に変更する必要性に加え、今後、市庁舎、図書館等の大型事業が控えている中、財政運営を考慮した上で、規模、場所、スケジュールについて議論を重ねる必要があるため、現時点で答えることはできない。